



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月11日

上場会社名 横浜魚類株式会社

上場取引所 東

コード番号 7443 URL <https://www.yokohamagyorui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 英俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 塚本 秋宏

TEL 045-459-3800

定時株主総会開催予定日 2026年6月29日

配当支払開始予定日

2026年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	20,978	3.8	211	34.7	236	30.2	185	2.5
2025年3月期	20,204	0.5	157	△2.9	181	0.7	181	11.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	29.67	—	7.1	4.3	1.0
2025年3月期	28.95	—	7.4	3.3	0.8

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 47百万円 2025年3月期 106百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	5,647	2,694	47.7	430.63
2025年3月期	5,408	2,515	46.5	402.03

(参考) 自己資本 2026年3月期 2,694百万円 2025年3月期 2,515百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	174	△108	△197	462
2025年3月期	133	△297	△185	593

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00	37	20.7	1.5
2026年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00	50	27.0	1.9
2027年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00		33.4	

### 3. 2027年3月期の業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	1.1	180	△14.9	200	△15.6	150	△19.2	23.97

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	6,290,000 株	2025年3月期	6,290,000 株
2026年3月期	32,649 株	2025年3月期	32,649 株
2026年3月期	6,257,351 株	2025年3月期	6,257,351 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計上の見積りの変更) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	13
(収益認識関係) .....	15
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期における我国経済は、企業業績向上に伴って雇用・所得環境が改善したことなどにより、個人消費が伸び、景気は緩やかな拡大基調にあります。しかしながら世界各地で起きる紛争による日本経済に与えるマイナスの影響が懸念されるなど先行不透明な状況が続いております。

水産物流業界におきましては、海洋環境の変化による漁獲不振や円安などによる魚価の値上がり並びに人件費、物流費などの増加によるコスト増が生じております。

このような状況におきまして、当社は顧客ニーズにあった商品を積極的に販売した結果、売上高は20,978百万円(前期比3.8%増)と増収になりました。

損益につきましては、売上高増加に伴い売上総利益が増加したこと並びに不良債権処理費用の減少などにより、営業利益211百万円(前期比34.7%増)、経常利益は236百万円(前期比30.2%増)、当期純利益185百万円(前期比2.5%増)と増益になりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (水産物卸売業)

横浜南部市場内の食品加工場よる売上の増加などにより、20,800百万円(前期比3.9%増)と増収となりました。営業利益は増収による売上総利益の増加などより、219百万円(前期比19.5%増)と増益になりました。

部門別の営業の概況は以下のとおりであります。

##### ①鮮魚部門

販売数量は減少しましたが単価高により、売上高は増加いたしました。この結果、取扱数量は16,522トン(前期比4.1%減)、売上高は9,742百万円(前期比2.5%増)となりました。

##### ②冷凍、塩干部門

販売数量の増加により、売上高は増加いたしました。この結果、取扱数量は16,328トン(前期比10.1%増)、売上高は11,057百万円(前期比5.1%増)となりました。

#### (不動産等賃貸業)

売上高は178百万円(前期比0.3%増)と前年並となりました。営業利益は固定資産税の減少などにより35百万円(前期比11.2%増)と増益になりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の状況

当期末における資産合計は5,647百万円(前期末比238百万円増)となりました。これは有価証券が100百万円、商品が268百万円増加したことなどにより、流動資産が284百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は2,952百万円(前期末比59百万円増)となりました。これは長期借入金金が159百万円減少しましたが、買掛金が111百万円、未払消費税が30百万円及び資産除去債務が38百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は2,694百万円(前期末比178百万円増)となりました。これは利益剰余金148百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが収入超過となりましたが、投資活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローは支出超過になったことにより、前期末に比べ130百万円減少し、462百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前当期純利益243百万円及び減価償却費144百万円が計上されましたが、棚卸資産が268百万円増加したことなどにより、174百万円の収入超過(前期 133百万円の収入超過)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有価証券の取得200百万円などありましたが、有価証券の償還100百万円などにより、108百万円の支出超過(前期 297百万円の支出超過)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済159百万円などにより、197百万円の支出超過(前期 185百万円の支出超過)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第88期 2022年3月期	第89期 2023年3月期	第90期 2024年3月期	第91期 2025年3月期	第92期 2026年3月期
自己資本比率 (%)	46.0	39.7	42.2	46.5	47.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	76.3	60.1	64.1	67.5	67.7

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

※ 株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(4) 今後の見通し

次期の経営環境につきましては、自然環境の変化による漁獲減少や円安などによる魚価の値上り並びに賃金改定による人件費、物流費の増加などがあり、コストの増加が予想されます。

このような状況におきまして、当社は顧客の求める商品提供について仕入先と協力して提供することに注力すると共にムダな経費の削減に努めてまいります。

売上高につきましては、量販店などへ積極的に販売することで増収を見込んでおります。損益につきましては、魚価の値上りなどにより利益率が低下すること並びに人件費、物流費の増加が予想され減益を見込んでおります。

以上により次期の業績見通しにつきましては、売上高21,200百万円(前期比1.1%増)、営業利益180百万円(前期比14.9%減)、経常利益200百万円(前期比15.6%減)、当期純利益150百万円(前期比19.2%減)を見込んでおります。

中東情勢による事業及び業績への影響について

現状におきましては、当社の事業及び業績への影響はありませんが、紛争の長期化により原油の価格が上昇し円安が進行するなどに伴い物価高が生じれば、当社の仕入コスト及び諸経費の増加が見込まれ、当社にマイナスの影響があります。今後そのような状況が生じれば速やかに適時開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	593,894	462,978
受取手形	6,703	6,256
売掛金	2,055,748	2,069,716
有価証券	—	100,000
商品	734,032	1,002,321
前払費用	6,090	7,107
短期貸付金	3,600	4,220
その他	14,750	10,422
貸倒引当金	△299,232	△263,342
流動資産合計	3,115,588	3,399,680
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,366,356	2,409,241
減価償却累計額	△1,363,979	△1,466,014
建物(純額)	1,002,376	943,227
構築物	65,355	65,355
減価償却累計額	△41,843	△43,998
構築物(純額)	23,512	21,357
機械及び装置	191,239	194,590
減価償却累計額	△164,592	△177,021
機械及び装置(純額)	26,646	17,569
車両運搬具	15,829	17,761
減価償却累計額	△15,186	△14,068
車両運搬具(純額)	642	3,693
工具、器具及び備品	243,652	246,740
減価償却累計額	△152,038	△176,522
工具、器具及び備品(純額)	91,614	70,218
その他	1,050	1,050
減価償却累計額	△625	△775
その他(純額)	425	275
土地	243,740	243,740
有形固定資産合計	1,388,958	1,300,080
無形固定資産		
ソフトウェア	3,406	1,640
電話加入権	0	0
無形固定資産合計	3,406	1,640
投資その他の資産		
投資有価証券	748,313	793,216
関係会社株式	35,645	35,645
出資金	400	400
役員に対する長期貸付金	11,187	7,587
破産更生債権等	124,315	119,746
会員権	26,000	26,000
繰延税金資産	47,030	52,662
その他	31,372	29,265
貸倒引当金	△123,806	△118,835
投資その他の資産合計	900,456	945,687
固定資産合計	2,292,822	2,247,408
資産合計	5,408,410	5,647,089

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
受託販売未払金	126,603	126,816
買掛金	1,440,388	1,551,394
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	159,600	159,600
未払金	122,908	126,307
未払費用	36,671	37,863
未払法人税等	53,073	59,453
未払消費税等	3,185	33,282
預り金	21,681	20,904
賞与引当金	19,827	21,989
その他	15,952	13,769
流動負債合計	2,099,893	2,251,381
固定負債		
長期借入金	241,400	81,800
退職給付引当金	320,904	348,857
役員退職慰労引当金	5,625	5,625
資産除去債務	64,704	103,255
長期預り保証金	159,927	161,427
その他	316	151
固定負債合計	792,878	701,115
負債合計	2,892,772	2,952,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,100	829,100
資本剰余金		
資本準備金	648,925	648,925
資本剰余金合計	648,925	648,925
利益剰余金		
利益準備金	94,000	94,000
その他利益剰余金		
別途積立金	500,000	600,000
繰越利益剰余金	227,585	275,698
利益剰余金合計	821,585	969,698
自己株式	△12,653	△12,653
株主資本合計	2,286,956	2,435,069
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	228,682	259,523
評価・換算差額等合計	228,682	259,523
純資産合計	2,515,638	2,694,592
負債純資産合計	5,408,410	5,647,089

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	20,204,963	20,978,848
売上原価	18,384,919	19,140,218
売上総利益	1,820,043	1,838,630
販売費及び一般管理費		
売上高割市場使用料	88,060	90,308
出荷奨励金	2,708	2,300
完納奨励金	54,117	51,336
運賃及び荷造費	307,690	321,194
保管費	98,394	112,305
役員報酬	54,514	53,740
従業員給料及び手当	519,581	541,609
賞与引当金繰入額	19,827	21,989
退職給付費用	47,001	28,157
福利厚生費	158,509	162,725
賃借料	85,112	85,522
租税公課	19,361	21,200
減価償却費	43,974	42,516
貸倒引当金繰入額	33,800	△39,652
その他の経費	130,334	131,804
販売費及び一般管理費合計	1,662,988	1,627,058
営業利益	157,055	211,572
営業外収益		
受取利息	842	3,568
受取配当金	21,472	24,186
還付消費税等	5,557	89
雑収入	698	657
営業外収益合計	28,571	28,502
営業外費用		
支払利息	3,567	3,030
雑損失	147	179
営業外費用合計	3,714	3,210
経常利益	181,911	236,864

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	—	143
投資有価証券売却益	—	6,245
特別利益合計	—	6,389
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	20,767	—
関係会社株式評価損	26,680	—
特別損失合計	47,447	0
税引前当期純利益	134,464	243,254
法人税、住民税及び事業税	50,176	76,073
法人税等調整額	△96,831	△18,476
法人税等合計	△46,655	57,597
当期純利益	181,119	185,657

【売上原価明細書】

		前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)			当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)		
区分	注記 番号	金額(千円)		構成比 (%)	金額(千円)		構成比 (%)
I 水産物卸売業売上原価							
買付品売上原価							
商品期首棚卸高		511,295			734,032		
当期商品仕入高		18,462,092			19,265,969		
合計		18,973,388			20,000,002		
商品期末棚卸高		734,032	18,239,355	99.2	1,002,321	18,997,680	99.3
II 不動産等賃貸業売上原価							
減価償却費		102,868			102,291		
公租公課		17,492			15,521		
その他		25,203	145,564	0.8	24,725	142,538	0.7
売上原価合計			18,384,919	100.0		19,140,218	100.0

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金					
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金				
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	829,100	648,925	94,000	360,000	205,237	△12,653	2,124,609	
当期変動額								
別途積立金の積立				140,000	△140,000		—	
剰余金の配当					△18,772		△18,772	
当期純利益					181,119		181,119	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	140,000	22,347	—	162,347	
当期末残高	829,100	648,925	94,000	500,000	227,585	△12,653	2,286,956	

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	231,339	2,355,948
当期変動額		
別途積立金の積立		—
剰余金の配当		△18,772
当期純利益		181,119
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△2,657	△2,657
当期変動額合計	△2,657	159,690
当期末残高	228,682	2,515,638

当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	829,100	648,925	94,000	500,000	227,585	△12,653	2,286,956
当期変動額							
別途積立金の積立				100,000	△100,000		—
剰余金の配当					△37,544		△37,544
当期純利益					185,657		185,657
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	100,000	48,112	—	148,112
当期末残高	829,100	648,925	94,000	600,000	275,698	△12,653	2,435,069

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	228,682	2,515,638
当期変動額		
別途積立金の積立		—
剰余金の配当		△37,544
当期純利益		185,657
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	30,841	30,841
当期変動額合計	30,841	178,954
当期末残高	259,523	2,694,592

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	134,464	243,254
減価償却費	146,842	144,807
減損損失	20,767	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,373	27,952
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,625	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△735	2,162
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,000	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△41,228	△40,861
受取利息及び受取配当金	△22,315	△27,755
支払利息	3,567	3,030
有形固定資産除却損	0	0
関係会社株式評価損	26,680	—
固定資産売却益	—	△143
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6,245
売上債権の増減額 (△は増加)	158,519	△13,520
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△222,737	△268,289
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	88,480	4,569
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,150	111,217
未払金の増減額 (△は減少)	7,793	4,009
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△108,509	30,096
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4,422	3,311
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△9,247	△872
その他	3,612	3,488
小計	147,131	220,209
利息及び配当金の受取額	22,248	27,301
利息の支払額	△3,419	△2,707
法人税等の支払額	△32,173	△70,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,785	174,219
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△200,000
投資有価証券の取得による支出	△199,914	△5,067
投資有価証券の売却による収入	—	10,500
有価証券の償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△84,091	△16,682
有形固定資産の売却による収入	—	143
無形固定資産の取得による支出	△2,066	—
短期貸付けによる支出	△100	△900
短期貸付金の回収による収入	526	280
長期貸付けによる支出	△14,000	—
長期貸付金の回収による収入	1,917	3,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△297,729	△108,125
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△166,300	△159,600
配当金の支払額	△18,797	△37,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185,097	△197,010
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△349,041	△130,916
現金及び現金同等物の期首残高	942,935	593,894
現金及び現金同等物の期末残高	593,894	462,978

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

資産除去債務の見積りの変更

当事業年度において、低温加工・物流設備及び食品加工施設に係る不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、将来における設備及び施設の退去に必要なとさせる原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による増加額38,225千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、当該見積りの変更による、当事業年度の損益に与える影響はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	13,325千円	13,325千円
持分法を適用した場合の投資の金額	1,120,987	1,168,249
持分法を適用した場合の投資利益の金額	106,009	47,393

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

## I 前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	水産物 卸売業	不動産等 賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,027,211	177,752	20,204,963	—	20,204,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,027,211	177,752	20,204,963	—	20,204,963
セグメント利益	183,679	32,188	215,867	△58,812	157,055
セグメント資産	2,733,793	1,237,735	3,971,529	1,436,881	5,408,410
その他の項目					
減価償却費	43,974	102,868	146,842	—	146,842
減損損失	20,767	—	20,767	—	20,767
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	87,057	—	87,057	—	87,057

(注) 1. セグメント利益の調整額△58,812千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額1,436,881千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

3. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	水産物 卸売業	不動産等 賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,800,524	178,324	20,978,848	—	20,978,848
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,800,524	178,324	20,978,848	—	20,978,848
セグメント利益	219,467	35,786	255,253	△43,680	211,572
セグメント資産	3,024,833	1,175,812	4,200,645	1,446,444	5,647,089
その他の項目					
減価償却費	42,516	102,291	144,807	—	144,807
減損損失	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	12,586	41,576	54,163	—	54,163

(注) 1. セグメント利益の調整額△43,680千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額1,446,444千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

3. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

**【関連情報】**

前事業年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

「(5)財務諸表に関する注記事項 (収益認識関係) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報」に同一の内容を記載しているため、注記を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
相鉄ローゼンフレッシュフーズ株式会社	3,185,636	水産物卸売業

当事業年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

「(5)財務諸表に関する注記事項 (収益認識関係) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報」に同一の内容を記載しているため、注記を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
相鉄ローゼンフレッシュフーズ株式会社	3,483,574	水産物卸売業

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前事業年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日) 及び当事業年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)  
該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

前事業年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日) 及び当事業年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)  
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下の通りであります。

前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	水産物卸売業	不動産等賃貸業	
鮮魚部門	9,509,665	—	9,509,665
冷凍、塩干部門	10,517,546	—	10,517,546
顧客との契約から生じる収益	20,027,211	—	20,027,211
その他の収益	—	177,752	177,752
外部顧客への売上高	20,027,211	177,752	20,204,963

当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	水産物卸売業	不動産等賃貸業	
鮮魚部門	9,742,859	—	9,742,859
冷凍、塩干部門	11,057,665	—	11,057,665
顧客との契約から生じる収益	20,800,524	—	20,800,524
その他の収益	—	178,324	178,324
外部顧客への売上高	20,800,524	178,324	20,978,848

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額 402円 03銭	1株当たり純資産額 430円 63銭
1株当たり当期純利益 28円 95銭	1株当たり当期純利益 29円 67銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益 (千円)	181,119	185,657
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	181,119	185,657
普通株式の期中平均株式数 (株)	6,257,351	6,257,351

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、本日 (2026年5月11日) 公表の「役員人事に関するお知らせ」をご覧ください。